

お父さん 向け
お母さん

子どものための 化学物質ガイドライン 【家庭室内編】



はじめに

私たちの身の回りには、すべて化学物質でできていますが、そのうち、日本で工業的に製造されている化学物質だけでも5万種以上あると言われています。

これらの化学物質は、私たちの生活を豊かで快適にしていますが、健康などへ悪影響を及ぼすことがあります。

特に、健康への影響は、大人よりも成長期の子どもの方が大きいと考えられています。

そこで、子どもたちへの影響を防ぐために、家庭の室内において大人の皆さんが配慮していただく点をガイドラインとしてまとめました。

どうか、身の回りの化学物質と上手く付き合い、安心して生活できるようなこのガイドラインを活用してください。

身の回りに多くの化学物質があります

おもちゃ



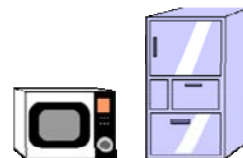
自動車



化粧品



電化製品



医薬品



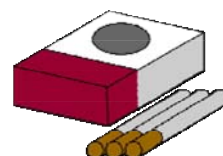
洗剤



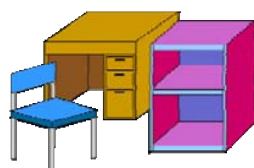
アクセサリー



たばこ



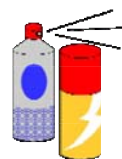
家具



農薬



殺虫剤



塗料



子どもの特徴

身長が低い

子どもの生活空間は、地面や床近くになります。



口に入れる

乳幼児は、何でも物を口に入れたがります。

体は未成熟

子どもは、体の機能が未熟で、成長期にあり、体重あたり大人よりも多くの空気を吸います。このため、子どもの方が、健康への影響が大きくなります。



化学物質の有害性

化学物質は、私たちの生活になくてはならないものですが、一方で、間違った使い方をして、使いすぎると健康などに影響を与えることがあります。

例えば、家具の合板や接着剤には、ホルムアルデヒドなどが含まれているものがあります。

体に過剰に取り込むとどうなるの？

ホルムアルデヒド

目や喉の痛み、頭痛などが起こる可能性があります。

例えば、アクセサリー、おもちゃには、鉛が含まれているものがあります。

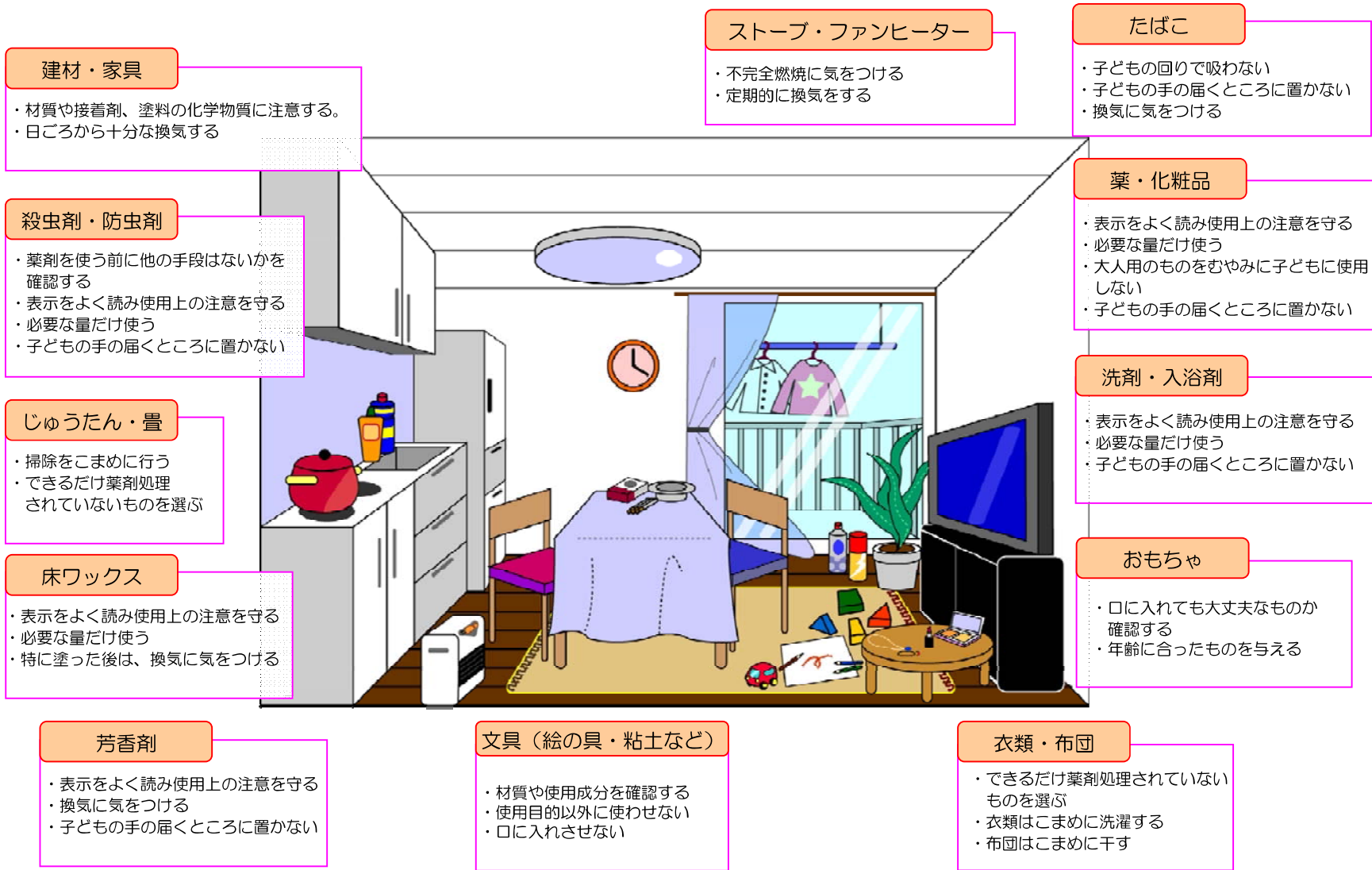
鉛

末梢神経、腎臓及び生殖機能に対する障害が生じる可能性があります。



こんなところの化学物質に注意！

子どもは、大人より化学物質の影響を受けやすいため、回りの大人が次のようなことに気をつける必要があります。



化学物質とうまく付き合いましょう

化学物質は、きちんと理解して正しく使えば決して危険なものではありません。気にしすぎる必要はありませんが、ちょっとした気遣いを持つことが大切です。また、子どもには、子どもに対応した製品を使わせるなど、正しい使い方や情報を教えましょう。

- (1) 購入するときには、本当に必要なものか考えましょう。
- (2) その製品にどんな化学物質が含まれているか確認しましょう。
- (3) 使用するときには、表示をよく読み、正しい方法を守りましょう。
- (4) 使う量を正しく守りましょう。
- (5) 日ごろから換気に注意しましょう。
- (6) 保管をする時は、子どもの手の届かないところに置きましょう。



子どものサイン

子どもは、日々、元気いっぱい動き回るものですが、いつもと顔色や動き方が違うことがあれば、体調がすぐれない証拠です。常に注意をしてみてください。もしも、異常を感じたら、お医者さんに相談してください。



県で作成したガイドラインなど

- 「県有施設における農薬・殺虫剤等薬剤適正使用ガイドライン」
愛知県環境部環境活動推進課
<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/katsudo-a/jigyo/prtr/kenmin.html>
- 「化学物質の正しい理解のために」
愛知県環境部環境活動推進課
<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/katsudo-a/jigyo/prtr/kenmin.html>
- 「シックハウス予防対策」
愛知県健康福祉部生活衛生課
<http://www.pref.aichi.jp/0000021339.html>
- 「学校における室内空气中化学物質対策マニュアル」
愛知県教育委員会
<http://www.pref.aichi.jp/0000006499.html>

化学物質に関する情報が得られるところ

ホームページなど

(愛知県)

- ・環境部環境活動推進課(化学物質の使用状況等について)
<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>
- ・農林水産部農業経営課(農薬の適正使用について)
<http://www.pref.aichi.jp/nogyo-keiei/>
- ・健康福祉部生活衛生課(シックハウス症候群等について)
<http://www.pref.aichi.jp/eisei/>

(国など)

- ・環境省環境保健部環境安全課(化学物質に関する情報)
<http://www.env.go.jp/>
- ・厚生労働省(シックハウスや食品衛生等に関する情報)
<http://www.mhlw.go.jp/>
- ・国土交通省(シックハウスに関する情報)
<http://www.mlit.go.jp/>
- ・経済産業省(化学物質に関する情報)
<http://www.meti.go.jp/>
- ・農林水産省(農薬に関する情報)
<http://www.maff.go.jp/>
- ・消費者庁(家庭用品に関する情報)
<http://www.caa.go.jp/>
- ・(独)製品評価技術基盤機構(化学物質のリスク評価・管理に関する情報)
<http://www.safe.nite.go.jp/>

このパンフレットに
ついての問い合わせ
せは……

愛知県環境部環境活動推進課環境リスク対策グループ
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL: 052-954-6212
FAX: 052-954-6914
E-mail: kankyokatsudo@pref.aichi.lg.jp
Home Page: <http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>

このパンフレットは再生紙を利用しています。

(挿絵 三浦由加里)

2014年秋 「国連ESDの10年」

平成24年3月29日策定

最終年会合(愛知・名古屋)を成功させよう!